

令和6年度 高根沢町教育委員会（6月）会議録

会議の日時	令和6年6月19日（水） 開会 午後1時30分 閉会 午後5時15分	場 所	高根沢町農村環境改善センター 2階 研修室
教育長及び出席委員の氏名	(教育長) 坂本 美知夫 (委員) 野中 直子 中野 謙作 齋藤 君世 佐藤 豪男	説明員及び書記氏名	(学校教育課) 課長 加藤 敦史 課長補佐(書記) 小林 賢治 学校給食センター所長 林 博志 課長補佐兼管理主事兼指導主事 今平 紀章 課長補佐兼指導主事兼係長 平山 勇輔 係長 渡邊 正道 (こどもみらい課) 課長 齋藤 雅人 課長補佐 鈴木 郁子 (生涯学習課) 課長 石嶋 良憲 課長補佐 赤羽 康弘 係長兼社会教育主事兼指導主事 齋藤 洋一
欠席委員の氏名			
会 議 事 項			
<p>(1) 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高根沢町学校運営協議会委員の任命について ② 高根沢町社会教育委員並びに高根沢町公民館運営審議会委員の委嘱について ③ 令和5年度高根沢町教育行政の主な実績について ④ 学校規模適正化の検討について <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高根沢町中学校部活動大会交通費助成金交付要綱の制定について ② 公立保育園の統合に向けた今後の対応について <p>(3) その他</p>			

議 事 の 経 過

坂本教育長	委員の出席は4名で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項による半数以上の出席を得ているため、教育委員会を開催します。 (あいさつ) 議事に入る前に、5月の教育委員会定例会の会議録を承認してよろしいか諮ります。
委 員	(異議なし)
坂本教育長	異議なしと認め、高根沢町教育委員会5月定例会の会議録を承認します。また、本日(6月)の会議録署名人に齋藤委員を指名します。書記については、学校教育課の小林課長補佐を指名します。 議事に入ります。 審議事項①高根沢町学校運営協議会委員の任命について 事務局から説明をお願いします。
加藤課長	【説明要旨】 ・各小中学校8校に設置する学校運営協議会の委員(任期は令和7年4月30日まで)を任命するもの。
坂本教育長	本件について委員から意見等がありますか。
佐藤委員	委員は20名以内で組織するとありますが、上高根沢小学校の委員人数が他の学校と比較して多い理由は何でしょうか
加藤課長	地域とのつながりを重要視しているという学校の特色や地域性が現れたものと認識しています。
坂本教育長	そのほか意見等なければ、 審議事項① について承認してよろしいですか。
委 員	(異議なし)
坂本教育長	審議事項①高根沢町学校運営協議会委員の任命について 承認します。 続いて、 審議事項②高根沢町社会教育委員並びに高根沢町公民館運営審議会委員の委嘱について 事務局から説明をお願いいたします。
石嶋課長	【説明要旨】 ・高根沢町社会教育委員並びに高根沢町公民館運営審議会委員について、補欠委員5名(任期(残任期間)は令和6年7月1日から令和7年6月30日まで)を委嘱するもの。
坂本教育長	本件について委員から意見等がありますか。
委 員	(意見等なし)
坂本教育長	意見等がなければ、 審議事項② について承認してよろしいですか。
委 員	(異議なし)
坂本教育長	審議事項②高根沢町社会教育委員並びに高根沢町公民館運営審議会委員の委嘱

議 事 の 経 過

	<p>について承認します。</p> <p>続いて、審議事項③令和5年度高根沢町教育行政の主な実績について事務局から説明をお願いします。</p>
加藤課長 齋藤課長 石嶋課長	<p>【説明要旨】</p> <p>・令和5年度の教育行政の主な実績について、「高根沢町地域経営計画2016（後期計画）」における基本目標・施策ごとに、それぞれ主な「実施内容」、「課題」、「取組方針」を、学校教育課、こどもみらい課、生涯学習課から順番に説明</p>
坂本教育長	<p>事務局からの説明は以上です。本件については、委員の皆様からご意見をいただき、その中から次年度以降の教育施策に反映すべき項目・内容をピックアップして、次の総合教育会議における議題として町長と協議することとしたいと考えています。</p> <p>まず、学校教育課の所管部分について、委員から意見等がありますか？</p>
齋藤委員	<p>質問ですが、ICT教育の中でCanva（グラフィックデザインツール）やKafoot！（クイズ大会を開けるアプリ）などを活用したとのことですが、どの学年でどのように活用されたのでしょうか。</p>
平山指導主事	<p>小学校中学年以上と中学生が使用し、意見を共有する場面での活用や、ポスターを作成したり、自分でクイズを作ったりといった活用がありました。</p>
野中委員	<p>学校運営協議会の活動が本格的に開始され、令和5年度はどのような内容だったのでしょうか。</p>
今平管理主事	<p>概ね全ての学校で年に3回の会議を実施することができましたので、第1回では学校運営方針や委員の役割の共通理解、第2回では「熟議のための具体的なテーマ」を決めて協議を行い、第3回では1年のまとめとしての学校評価や次年度に向けた学校経営などについての内容を実施することができました。</p>
中野委員	<p>英語について、小学校から中学校への接続の課題など、授業改善の実態はどうでしょうか。</p>
平山指導主事	<p>英語についての小中学校の接続については、小学校6年生を対象として中学校のALTが行う「国際交流集会」でアクティビティ活動を中心とした授業を行うものと、もう一つは、中学校の英語教員が小学校6年生の教室で行う「乗り入れ授業」を実施しています。</p>
佐藤委員	<p>外国籍児童生徒の就学実態や対応についてはどのような状況でしょうか。</p>
加藤課長	<p>他市町と比較して外国籍児童生徒の在籍人数が多いわけではなく、これからの増加理由も特になく状況ですが、ここ数年で増えてきていますので、その対応は課題となっています。</p>

議 事 の 経 過

今平管理主事	本町では、外国籍の児童、日本語でのコミュニケーションが難しい児童が就学した場合の対応として、拠点校という形で西小学校に日本語指導教室が設置されています。中学校についても外国籍の生徒が就学していますが、会計年度任用職員を配置して日本語指導等の支援対応をしています。
野中委員	フリースペースひよこの家に通級した中学3年生7名の進学状況は？
平山指導主事	通信制の高校等を含め、全員が進学しています。
坂本教育長	来年度以降の教育施策の中で、特に力を入れていくべき事業や取組についてはご意見ありますか。
齋藤委員	急速な ICT やインターネットの普及によって、ICT のモラルやマナー、リテラシーに関する教育がとても重要になってきていると思います。例えば、子ども達がタブレットを扱う上での基本的なルールや約束事をシンプルに提示したものなどはあるのでしょうか？後で参考に拝見したいと思います。
平山指導主事	小学校1年生に上がるときに、子ども達と保護者の方に、モラルも含め、使用する上での注意点等、使い方全般について周知しています。
佐藤委員	キャリア教育の推進の中で、キャリアパスポートの取組は、今後充実させてほしいと思います。
野中委員	同じく、hyper-QU テストは、今後も継続してほしいと思います。
齋藤委員	運動遊びプログラムは、保護者にも大変好評であり、「健やかな体の育成」において、安心感につながる事業だと思いますので、ぜひ今後は、子ども達の運動習慣につなげていくための具体的な仕組みづくりまでを含めて計画してほしいと思います。
中野委員	今年度から始まった校内教育支援センターについては、人的配置を含め、更に充実させてほしいと思います。また、校内教育支援センターが、子ども達の居場所として有効に活用されるように、子ども達が居やすい場所となるように取り組んでいただきたいと思います。
坂本教育長	それでは、ICT モラルに関する教育の充実、キャリアパスポートの取組の充実、hyper-QU テストの継続、運動遊びプログラムの充実、校内教育支援センターの充実などの中から、取り上げていくことといたします。 続いて、生涯学習課の所管部分についてはいかがでしょうか。
齋藤委員	親学習プログラムは、どのような方法で実施したのでしょうか。
齋藤社教主事	小学校就学前の就学時健康診断に合わせて実施したものです。
齋藤委員	親同士の関りや学校ごとのコミュニティを形成していくためのきっかけとして、意義が大きいと思いますので、引き続き実施していただきたいと思います。

議 事 の 経 過

中野委員	<p>婚活イベントの開催についても、参加人数が増やせるよう、引き続き充実させてほしいと思います。</p>
坂本教育長	<p>それでは、親学習プログラムの充実、婚活イベントの充実などについて、取り上げていくこととします。</p> <p>続いて、こどもみらい課の所管部分についてはいかがでしょうか。</p>
野中委員	<p>医療費抑制のため、いわゆるコンビニ受診をなくして適正受診を徹底していくためのパンフレット等は作っているのでしょうか。</p>
齋藤課長	<p>子ども医療費の受給資格者証を送付する際に、適正受診を啓発するチラシを同封しています。</p>
齋藤委員	<p>「子育て応援隊」の冊子は、とてもいい情報が集約されていますので、保護者が更にもっと手に取って手元に置いておきたくなるような、ママさん世代にマッチングする、おしゃれなデザインや作りの工夫などを考えてみてはいかがでしょうか。サイズ感はとてもいいと思います。</p>
中野委員	<p>4月から始まった「こども家庭センター」についても、更なる充実をお願いしたいと思います。</p>
野中委員	<p>学童保育の利用ニーズは高いと思いますので、子ども達が安心して放課後をごせるよう、学童保育所の更なる整備の充実をお願いします。</p>
坂本教育長	<p>それでは、情報発信力の強化、子ども家庭センターの更なる充実、学童保育所の整備の充実などについて、取り上げていくこととします。</p> <p>そのほか意見等がなければ、審議事項③について承認してよろしいですか。</p>
委 員	<p>(異議なし)</p>
坂本教育長	<p>審議事項③令和5年度高根沢町教育行政の主な実績について承認します。</p> <p>続いて、審議事項④学校規模適正化の検討について事務局から説明をお願いします。</p>
小林補佐	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの定例会での協議における意見の論点整理資料等について説明
坂本教育長	<p>これまで3回にわたって学校規模適正化について協議してきた内容を、意見の論点を整理してまとめたものを配付しています。本日は、大きく4つの項目に分けて、項目ごと順番に意見を総括して、教育委員会としての意見を方向付けていきたいと思います。</p> <p>まず1つ目は、統合方法についてです。2段階の段階的統合とするか、4校から1校への統合とするか、ご意見をお願いします。</p>
齋藤委員	<p>様々な側面から協議を重ねてきましたが、4校から1校にしていく場合に必要</p>

議 事 の 経 過

	<p>となる学校施設の増築・改築の大きな費用や、期間がかかるため統合がいつになるか時期を読めないというところからも、2段階で段階的統合とするのがいいと考えています。</p>
野中委員	<p>4校から1校に統合するのが一番理想的であると考え、新設や北中校舎の活用なども検討してきたところですが、1校にするには多くの課題があって、時間もかかるということですので、子ども達の人間関係を固定させず、発達段階に応じた多様な人間関係を経験させることが大事であるという観点からは、望ましくないと考えました。今後は、上高小に限らず、東小、北小、中央小も児童数の急激な減少が推計されていますので、いたずらに時間をかけるのではなく、早めに望ましい教育環境に近づけていくため、2段階の段階的な統合がいいのではないかと考えます。</p>
中野委員	<p>同じく、2段階の段階的統合がいいと思います。児童生徒数の減少を考えますと、子ども達がクラスの中で多様な価値観に出会う機会という観点から、統合・集約することが望ましいと思います。</p>
佐藤委員	<p>最初から1校にできれば理想的かも知れませんが、段階的に1校に統合するのが現実的だと思います。施設整備の面や、これからさらに児童生徒数が減っていくことを考えますと、まず現状の学校施設を活用できる方法であること、そして次の段階までにまた新たな施策を練ることができる方法であることから、いったん4校から2校に統合し、そこから1校に統合する方法が、現実的であり、今取るべき方法だと感じています。</p>
坂本教育長	<p>それでは、統合方法については、2段階の段階的統合が望ましい、という意見として集約します。</p> <p>続いて、統合方法に伴って統合の時期をいつにするかについてです。素案では第1段階の統合時期の目安を令和9年度としていますが、いかがでしょうか。</p>
齋藤委員	<p>同じクラスで学び合う人数というのも課題の1つですので、児童生徒数の減少を考えると、統合時期を延ばすのではなく、素案のとおり令和9年度を目途とするのがよろしいと思います。</p>
佐藤委員	<p>私も、令和9年度を目途に進めていただければと思います。</p>
坂本教育長	<p>それでは、児童生徒数の減少を踏まえると、先延ばしにせず、3年後の令和9年度を目途として統合するということではよろしいでしょうか？また、確認ですが、4校を2校に統合する際、同じ時期に同じタイミングで統合するということではよろしいでしょうか？</p>
委員	<p>(異議なし)</p>

議 事 の 経 過

坂本教育長	<p>それでは次に2つ目として、小規模特認校制度についてです。</p> <p>小規模特認校制度の成果と課題をどのように統合校に反映していくかについて、委員の皆様のご意見をお願いします。</p>
野中委員	<p>小規模特認校制度は、複式学級を生じるような過少規模を解消するために導入した制度であると認識していますので、統合によって過少規模が是正されることになれば、制度を継続する必要性はなくなると思います。統合するに当たっては、上高小に小規模特認校制度で入学された方々に対して、丁寧な説明と、柔軟な対応が必要になってくると思います。</p>
齋藤委員	<p>小規模特認校である上高小においてできあがった新しい文化や、教育活動の豊かさは、この町の教育の成果であり、学校が統合しても引き継いでいけるものは引き継いでいくべきだと思います。統合する両方の学校のよさを新しい学校で融合していけたらいいのではないのでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>上高小の学校評価のアンケート結果では、必ずしも全員が上高小の教育を「よい」と評価していなかったように思いますが、何人かの保護者から個人的にお話を伺った限りにおいては、皆さん、上高小の教育が「とっても素晴らしかった、よかった。」とおっしゃっていました。これまで携わった方々が作り上げてきた上高小の教育のよさを、高根沢町の貴重な学校文化・教育文化として残していくべきだと思います。</p>
中野委員	<p>自分も同じ考えで、制度としては解消しても、上高小で実践された教育の成果を活用していく必要があると思います。</p>
坂本教育長	<p>それでは、小規模特認校制度については、上高小で実践された教育文化や、豊かな教育活動、教育内容については、統合後も引き継いでいけるものは引き継いでいく、ということによろしいのでしょうか？</p>
委 員	<p>(異議なし)</p>
坂本教育長	<p>次に3つ目として、学区についてです。統合に係る学区の問題についてはいかがでしょうか。</p>
齋藤委員	<p>現在の中央小学区の中でも、距離的には西小学校が近い場合もあるかと思いますが、個別の対応も必要になってきますし、あらかじめ、事情によって指定校変更を許可できるような仕組みの見直しも必要だと思います。可能な限り、柔軟に対応する必要があると思います。</p>
中野委員	<p>制度の中で可能であれば、柔軟に対応していただきたいと思います。</p>
野中委員	<p>柔軟に対応しつつも、中学校進学時の学区も踏まえて、何かしらのルールが必要であれば、考えておくべきだと思います。</p>

議 事 の 経 過

坂本教育長	デリケートな問題でもあるので、これから個別・柔軟に検討していくということによろしいでしょうか。
加藤課長	基本的には一定のルールを持って対応をしていくことは可能であり、ルールに従って丁寧に対応していくこととなります。
委員	(異議なし)
坂本教育長	最後に4つ目として、町の教育についてです。統合後にどのような教育の実現を目指すか、についてご意見ありますでしょうか？
齋藤委員	この件に関しては、ぜひ教育長のお考えを聞かせていただきたいと思います。
坂本教育長	本町ではこれまでバランスよく豊かな教育を推進しようと努力してきました。その中で、本町の町の教育の特色は何かということを考えたときに、まずベースとなっているのが小中一貫教育だと思います。ただし、この小中一貫教育はあくまで教育方法のベース・基盤となるものであって、目指す方向性というものまでは示していません。今回、新たにこの学校の適正規模を考えていったときに、公聴会においても、これからの町の教育ビジョンは何かということが問われていたかと思っています。本町がこれまで力を入れてきた教育を改めて振り返ると、「キャリア教育」として、小学生への「夢の教室」事業や、中学生の講演会や振り返り活動など、他市町にない強みとなる教育を実施してきた経緯があります。これらのキャリア教育を、小学校1年生から中学校3年生まで、更に系統的に推進し、子ども達の夢や志や希望を実現させる教育、自己実現を図っていく教育を進めていきたいと考えているところです。また、このキャリア教育を本町全体の教育の中に浸透させていくことで、全ての教育活動を更に一層推進していきたいと考えています。
齋藤委員	キャリア教育の中で、いろいろな職業や活躍されている方々との出会いを重ねていくことで、それが自分らしさとの出会いにつながっていく、そういう教育が積み重ねられて大人へと向かっていけたらいいと心から願っています。子ども達が、見ること、知ること、出会い、伝え合うことを重ねていく。そんなキャリア教育が充実していったら、とても豊かな力に結びついていくのではないかと思います。
中野委員	キャリア教育の「キャリア」というのは、ラテン語で「轍」という言葉で表されます。いわゆる「キャリア教育」では、仕事と社会を結びつけることのほか、もう1つの側面として、子ども達が小学校から中学校まで、歩いていく轍は全て将来のキャリアに繋がるんだということが一番大きなポイントだと思います。様々な体験や経験の全てが、子ども達独自の轍となって将来のキャリアに繋がっていく。一般的なキャリア教育のイメージは、あくまでも仕事、そのための社会人マナー、社会人教育といったところですが、具体的に子ども達に対して、「様々な体験や経

議 事 の 経 過

	<p>験の全てが、これからの君を作り上げていくんだ」と伝えていくことがとても大事だと思います。</p>
佐藤委員	<p>自分自身の小学生・中学生時代には、「今っていうのは将来に繋がっていくんだ」と感じることはできていなかったと思いますので、子ども達にそれを示してあげることがとても重要だと感じました。人間教育の目標は、自己実現だけでなく、人間形成や、社会とのコミュニケーションの取り方の中で、どのように生きていくかだと思います。キャリア教育を高根沢町の教育ビジョンの中心に据えていくことはとてもいいと思いました。</p>
坂本教育長	<p>キャリア教育を更に推し進めていくことにより、キャリア教育を意識しながらそれぞれの教育活動を見直すことで、勉強の目的が明らかになったり、それぞれの発達段階での教育活動がより意義あるものになったりするのではないかと思います。大きな1つの特色としてキャリア教育を取り上げていくこととしてよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>(異議なし)</p>
坂本教育長	<p>それでは、審議事項④学校規模適正化の検討については、本日の審議結果を学校規模適正化基本計画の骨子案としてまとめ、次回の総合教育会議において、議題として協議することとします。</p> <p>続いて、報告事項です。報告事項①高根沢町中学校部活動大会交通費助成金交付要綱の制定について事務局から説明をお願いします。</p>
加藤課長	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き中学校部活動の大会出場に係る交通費等を町で支出するための手続きを整理し、その手続き等について高根沢町中学校部活動大会交通費助成金交付要綱として制定したものを。
坂本教育長	<p>本件について委員から質問等がありますか。</p>
野中委員	<p>第2条中のジュニアオリンピックについては、主催団体が違っていないか確認をお願いします。</p> <p>もう1つは要望ですが、この要綱で対象にならないような大会や種目についても、助成できる体制を考えていただけたらと思います。頑張っている子ども達に対して、何か温かい支援をしていただけたら、やりがいがあるのかなと思ひまして意見させていただきました。</p>
加藤課長	<p>主催については確認します。</p>
坂本教育長	<p>そのほか質問等がなければ、報告事項①について承認してよろしいですか。</p>
委 員	<p>(異議なし)</p>

議 事 の 経 過

坂本教育長	<p>報告事項①高根沢町中学校部活動大会交通費助成金交付要綱の制定について承認します。</p> <p>続いて、報告事項②公立保育園の統合に向けた今後の対応について事務局から説明をお願いします。</p>
齋藤課長	<p>【説明要旨】</p> <p>・令和8年4月から公立保育園2園を1園に統合することについて、これまでの検討の状況、今後のスケジュール等について説明。</p>
坂本教育長	<p>本件について委員から質問等がありますか。</p>
齋藤委員	<p>1つ提案があります。保育士不足については、広く社会問題となっていると認識していますが、さいたま市では保育士への奨学金支援制度を打ち出しており、高根沢町でも、他市町に先駆けて、このような保育士確保の取組や工夫を考えていただけたらと思っています。</p>
佐藤委員	<p>どうして保育園を統合するのか、もう一度ポイントを教えていただきたい。また、1園にして入れなくなった子どもはどうするのか？</p>
齋藤課長	<p>まず一番は、公立保育園の建物自体が老朽化していること、市街地に新たな受入施設が充実してきていることから公立保育園を1つにしても大丈夫だという見通しが立ったこと。また、保育士が不足していることから、1園にすることで保育士不足を解消し、効率的な保育園運営が可能になることなどが理由です。1園になって定員が減ることに入れなくなった子どもについては、全体的な受入可能人数が増えることから、その分も吸収できると考えています。</p>
坂本教育長	<p>そのほか質問等がなければ、報告事項②について承認してよろしいですか。</p>
委 員	<p>(異議なし)</p>
坂本教育長	<p>報告事項②公立保育園の統合に向けた今後の対応について承認します。報告事項は以上です。</p> <p>続いて、その他について事務局から何かありますか？</p>
加藤課長	<p>【説明要旨】 定例会における就学援助申請に係る報告方法の変更について連絡</p>
坂本教育長	<p>本日の議題は以上となります。</p> <p>次回は、7月10日(水)13時30分から総合教育会議、7月30日(火)15時00分から教育委員会定例会の開催を予定しています。</p> <p>以上をもって、教育委員会を閉会します。</p>

教育委員会会議規則第20条の規定により、署名する。

令和6年6月19日

教育委員会委員